

# 学校経営推進費 評価報告書（最終）

## 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	1 生徒の自己有用感、挨拶、マナー、コミュニケーション能力、職業観等の向上（学校教育自己診断） 2 環境問題やボランティア活動に対する意識の向上 3 中途退学率の減少、不登校生徒の減少、進級卒業率の向上
計画名	「学校油田」プロジェクト～プラスチックゴミで発電を～SDGsの観点から

## 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	2 生徒理解の促進と自己有用感を高める取組みの強化 （2） 特別活動、生徒会活動、部活動等を通じて、生徒の自己有用感を醸成する。 ア 生徒会行事、生徒の自主活動、ボランティア活動や地域連携事業の継続と発展をめざす。 <b>【地域連携事業】</b> エコ・プロジェクトや地域・企業等と連携した「ゆめ・チャレ（小学生の職業体験）」等の就労体験活動のさらなる発展充実 ※ 様々な事業に応募し、その活動を通して生徒の自己有用感を醸成する。
事業目標	本校生徒に自信を持たせ、コミュニケーション能力を身につけさせる。また、基本的な生活習慣を身につけさせ、進級・卒業率を上げることや、中途退学率を減らす必要がある。 ・ 工科高校ならではの「ものづくり」を通じて地域に誇りを持ち、自分にも誇りを持つ。 ・ 環境活動を通して学校外で様々な体験をし、基本的な生活習慣を身につけ、コミュニケーション能力等をつける。 ・ 地球温暖化などの環境問題と、自然災害との相互関係について、「学校油田」プロジェクトに取り組むことにより学び、「復興支援プロジェクト」（学校経営推進費事業）で得た防災知識と結びつけ、自助・共助の精神を養う。 ・ ボランティア活動に積極的に参加し、他者から感謝されることにより自己有用感を高める。 ・ 地球温暖化防止などの環境問題に取り組み、「プラスチックゴミ」で電気を作り、SDGsの観点から地域や被災地に向けて発信し、環境・防災の拠点校となる。
整備した 設備・物品	・ プラスチックゴミ油化装置一式（改良費含む） ・ プラスチック粉砕機
取組みの 主担・実施者	プロジェクトリーダー：進路指導主事・学校設定教科「堺学」主担 学校油田プロジェクト企画・運営：「エコ・プロジェクト」及び「堺学」担当教員 地域（町会・小中学校等）との連携推進：進路指導部 生徒に対する諸活動：生徒会活動部 プラスチックゴミ油化装置・廃油再生燃料化装置・バイオディーゼル発電機の製作・改良： 機械系・電気系職員
本年度の 取組内容	地域住民の方々と、近隣地域の「クリーンアップ」活動を行い、プラスチックゴミを回収した。回収したプラスチックゴミを「プラスチックゴミ油化装置」及び「バイオディーゼル発電機」を用いて電気を作った。さらに、学校に「プラスチックゴミ」ステーションを設置

	<p>し、地域の「プラスチックゴミ」を回収し、発電機の燃料にした。また、地域イベントにおいて、電力の供給をおこない、様々な電気機器の稼働をおこなった。</p> <p>自然災害が多発する昨今、有事の際の地域や被災地の電源確保となる。プロジェクト参加生徒の増加により、収集できる「プラスチックゴミ」の量が増え、燃料も増加した。その結果、生徒の自己有用感も高まり、中途退学率の減少、不登校生徒の減少、進級卒業率の向上につながった。</p>
<p><b>成果の検証方法 と評価指標</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「学校へ行くのが楽しい」「この学校には他の学校にない特色がある」「地場産業について学び、体験する機会が多い」（学校教育診断）70%以上</li> <li>2 退学率9%台の維持、1年生の進級率（70%以上）、学校全体の進級卒業率（80%以上）</li> <li>3 学校油田プロジェクトへの参加生徒 60%</li> </ol>
<p><b>自己評価</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育自己診断の肯定率は、「学校へ行くのが楽しい（68.4%）」「この学校には他の学校にない特色がある（64.9%）」「地場産業について学び、体験する機会が多い（61.1%）」となり、若干70%に届かない部分もあるが、活動参加生徒の自己肯定感が育まれ、生徒会活動に関わるなど成長は著しい。また、学校全体で「学校へ行くの楽しい」との思いが向上したことを踏まえると、目標を概ね達成したと考える。…（○）</li> <li>2 退学率（2.9%）、1年生の進級率（95.7%）、学校全体の進級卒業率（93.8%：長欠を除く）と、目標を大幅に上回り、活動の成果が現れた。……………（◎）</li> <li>3 全プロジェクトへの参加生徒は70%であり、60%をクリアした。……………（○）</li> </ol>
<p><b>事業のまとめ</b></p>	<p>地域住民の方々と、近隣の「クリーンアップ」活動を行い、たくさんのプラスチックゴミを回収することが出来た。回収したプラスチックゴミを「プラスチックゴミ油化装置」及び「バイオディーゼル発電機」を用いて電気を作った。さらに、学校に「プラスチックゴミステーション」を設置し、地域の「プラスチックゴミ」を回収し、発電機の燃料にした。</p> <p>また、電源のない地域イベントにおいて、電力の供給をおこない、「スマートフォン」の充電サービスや、様々な電気機器の充電などもおこなった。被災地においても各学校と協力し、プラスチックゴミの有効活用について意見交換をおこない、「土砂災害」を防ぐ「玉夢桜」の植樹や、CO2を削減する「レッドカーペット・プロジェクト」などの自然災害を防ぐ活動もおこなった。</p> <p>プロジェクト参加生徒の増加により、収集できる「プラスチックゴミ」の量が増え、燃料も増加し、その結果、生徒の自己有用感も高まり、中途退学率の減少、不登校生徒の減少、進級卒業率の向上につながることが出来た。さらに、生徒の希望する進路を実現させることが出来た。</p>

### 3. 事業費報告

今年度事業費総額	160,000	円
----------	---------	---

#### 積算内訳

\* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

	科目（節）		内訳	単価	数量	金額	
	番号						
積算内訳	1 報償費	1					
		2					
		3					
						小計	0
	2 旅費	1	被災地訪問		¥80,000	2	¥160,000
		2					
		3					
						小計	160000
	3 消耗需用費	1					
		2					
3							
					小計	0	
4 維持需用費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
5 役務費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
6 委託料	1						
	2						
	3						
					小計	0	
7 使用料 及び賃借料	1						
	2						
	3						
					小計	0	
8 備品購入費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
9 工事請負費	1						
	2						
	3						
					小計	0	
10 負担金・補助 及び交付金	1						
	2						
	3						
					小計	0	
					合計	¥160,000	